



■ コンサル・CAD/CAM活用支援サービス



内外突法規要件対応の課題



製造後の要件モレによる手戻り

- 販売後の発覚はリコールの対象の為、絶対順守の要件
- 金型や製造ラインの修正は数百から数億円のコストが必要

CADでの確認工数の不足

- 抜け漏れなくチェックするには工数を掛けてチェックする必要
- 時間的な制約の中での判定なので、荒いチェックになってしまう

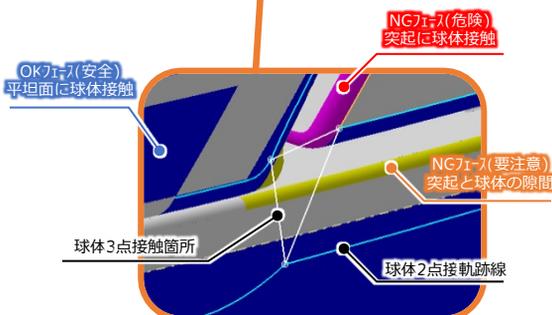
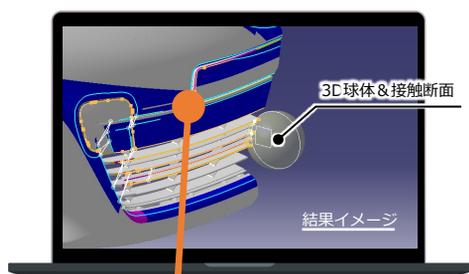
積極的なデザインへの足枷

- 安全基準に気を使いすぎて消極的（丸まった形状）にしてしまう
- どこを変えていいのか、変えてはいけないのかわからない

人依存のチェック方法

- 設計者のカンコツなど感覚的な部分に依存してしまう
- CAD上で評価するにしても、操作のスキルに依存してしまう

車両内外突Rチェックシステム が解決します



チェック作業の自動化・高速化

膨大な検証作業が高速に判定される為、作業者は考えることにリソースをシフトすることが出来るようになります！



高精度な判定が可能

数学的な計算により、球体接触可否・曲率半径を理論的に出力。正確な球体配置・断面作成が可能になります！



直観的な操作性

ツールへの要素入力は表面を自動的に抽出する為、簡単な入力が可能になります。結果がCATIA要素として出力される為、良否（境界）判定が一目瞭然！



柔軟な拡張性

法規要件はもとより、企業や部位毎に定められた基準やノウハウを組み込むことが可能です！



記載されている会社名、製品名およびサービス名称は各会社の商標または登録商標です。記載内容は2021年6月現在のものです。記載された仕様は予告なく変更する場合があります。

株式会社トヨタシステムズ

TEL : 050-3142-7889 Mail : ts_cattool_sup@ml.toyotasystems.com

URL : <https://www.toyotasystems.com>



2019年第1版